



# なんとあいまいな感染症 —新型インフルエンザ感染拡大防止策について—

笠間市立病院長 石塚恒夫

感染症はあいまいでとらえどころがない病気です。多種多様な病原微生物がいて、感染力もピンからキリまであり、感染経路もまた空気感染・飛沫感染・経口感染などさまざま、発症する場所も頭からつま先までバラバラです。自覚症状がないものもあれば、致死率の高いものもあります。要するに「ひと言で答えられない」というのが特徴です。けれど、感染症を最もあいまいにさせているのは、「病原微生物に触れたからといって、感染するとは限らない。感染したとしても必ずしも発病しない。発病したとしてもきわめて大きな個人差がある。」というところです。免疫力が弱くなっているときは、普段は悪さをしない常在菌でさえも病気を引き起こすことがあります（日和見感染）。

8月末に流行開始が確認された新型インフルエンザについて考えてみましょう。新型とはいっても、かつて流行したスペイン風邪ウイルスがブタの間で潜伏していたものです。60代以上ではある程度の免疫があると考えられており、実際にかかっているのは10代が中心です。免疫力の高い若年者では大多数が短期間で治癒しており、低病原性とされています。しかし過剰な免疫反応が原因で重症化することがまれ

にあります。かかりにくいとされる高齢者でも、喘息などの慢性呼吸器疾患や糖尿病などの基礎疾患を持っていれば、感染した場合には重症化するリスクが分かっています。妊婦や乳幼児も免疫力が低いために重症化しやすいとされます。今回の流行は、9月末から10月をピークに人口の20%以上が発症すると予測されています（通常の季節性インフルエンザでは5~10%）。低病原性のままでも感染が拡大すれば、基礎疾患のない若年者でさえ重症患者が増えることが危惧（きぐ）されます。

マスクをしたりワクチンを打ったりすれば絶対にかからないわけではありませんし、抗ウイルス薬を早期に服用すれば絶対に重症化しないというわけでもありません。一番重要なことは、かかったかなと思った人が外出を控えることです。どうしても外出せざるをえない時は、自分がマスクをつけることです。「自分には軽い症状を引き起こしただけのウイルスが、他の人には重症化を起こすかもしれない」と想像することが大切なのです。また喘息や糖尿病などの基礎疾患をしっかりと治療したり睡眠を十分にとったりすることが、ワクチンや薬以上に重要なものかもしれません。

## 笠間のがんばる企業紹介⑭

笠間市には、全国でもトップクラスの技術を持つ企業がたくさんあります。このコーナーでは、より良い製品づくりを目指して研究・開発に取り組む市内の企業を紹介いたします。

### （株）エダテック

友部地区の橋爪地内にある（株）エダテックは、昭和50年の創業以来、省力・自動化機器の設計・製作を手がけています。代表取締役の江田弘昭さんにお話を伺いました。

—「省力・自動化機器」とは、どのようなものですか？

「あまり聞きなれない言葉かもしれませんが、人の代わりに工場内で物を作ったり、運んだりする機械のことです。ゆとりのある未来を作りたいという思いで、手や足に代わる道具を開発しています。」

—（株）エダテックさんの特徴を教えてください。

「お客様のニーズに合わせて、機械の設計から製作まではもちろん、それを制御するプログラムまで一貫して製作できることが当社の強みです。また、様々な素材に対応できるのも特徴です。金属、木材、樹脂、食品など、取り扱う素材によって求められる技術は異なりますから、変わったところでは、水を使って加工を行う装置もあります。」

—水ですか？

「はい。いろいろな素材に超高压の水を当てて表面処理などを行うため、一般の工具のように直接製品に触れることなく、

きれいな仕上りと高い精度を確保できるのが特徴です。このように様々な技術を組み合わせ、柔軟な発想で機械を作っています。」

—これからの目標を聞かせてください。

「常に新しい分野に挑戦します。100年前に栄えた産業で、現在も残っているものは果たしていくつあるでしょうか。新技術や世の中のニーズを敏感に取り入れ、時代の変化に対応できる企業でありたいと考えています。」



### （株）エダテック

従業員数▼8人

敷地面積▼3,630㎡

※文責△笠間市役所企業誘致推進室（内線228）